

* 深よみめんこちゃん *

深堀保育園で過ごすめんこちゃん達。今回は、りす組とぱんだ組のクラスからよみ解き、深堀していきます。

～りす組～

「つかめそうで、つかめない…」

進級から1ヶ月が経ち、新しい担任や環境にもずいぶん慣れてきた子ども達です。最近では探索活動が盛んで、興味のある場所や物を目指して歩いたり触れたりしています。ホールや園庭の滑り台や階段、太鼓橋などを上り下りしたり、狭い場所をくぐったりしながら全身を使って遊んでいます。室内でも体を使った遊びが楽しめるようにビニール袋をつなげたものを屋根にして、そこに色々な長さのテープを下げてみました。子どもたちはすぐに興味を示し、床に寝転んで揺れるテープを不思議そうに見たり、バランスをとりながらテープを掴もうとしたり、引っ張ったりしていました。歩行開始から間もない子どもが多いので、転倒や怪我のないよう十分に配慮しながら、歩く・登る・降りる・くぐる・掴むなどの感覚が豊かになるよう働きかけていきたいと思います。



こんなふうに育ってほしいなあ・・・

平衡感覚や距離感、指先の発達を促していけるように、身体をたっぶり動かして遊んでほしいな！

～ぱんだ組～

「みてみて できたよ！」

粘土遊びをしながら「カタツムリ」を歌うIちゃん。その歌を聞いて担任が粘土を細長くし、渦を巻くようにしてカタツムリを作って見せるとIちゃんも真似て作り始めました。粘土で細長い形やカタツムリを作り、できたことを担任に知らせて満足そうな表情を浮かべていました。その様子を見ていた友達も真似たり、どのくらい細くできるかを競ったりする姿もありました。粘土の感覚やイメージした物を作る楽しさを味わえるよう、子どもの姿に合わせて具体的な声掛けをしたり、「細長い粘土からどんな物ができるか」等、次の制作へのイメージが湧くような言葉を添えたりして関わっています。これからも一緒に遊びながら子ども達の思いに寄り添い、表現しながら遊ぶ楽しさを味わえるようにしていきたいと思います。



こんなふうに育ってほしいなあ・・・

身近な環境の中で、新しい発見を楽しんだり、考えたりして、感じたことを自分なりに表現できるようになってほしいな！